

平成 28 年度事務事業評価表(一般用)

事務事業名		051707		交通バリアフリー推進事業		担当部課	部課コード	051700	2998-9140							
事業コード		051707		交通バリアフリー推進事業		交通安全課										
開始年度		平成 16 年度		終了年度		年度		グループ		交通						
事業の概要	事業の種類	自治事務		法定受託事務		法定受託 + 附加		根拠法令								
	分野別計画・指針	所沢市交通バリアフリー基本構想														
	関連・類似事業	ノンステップバス導入促進事業														
	総合計画の体系	章	街づくり		節	交通		基本方針	安全で快適な交通環境の整備							
事業開始の背景	急速に高齢化が進み、本格的な高齢社会を迎えるとともに、障害者が健常者と同じように社会に参加できるノーマライゼーションの考え方が広まっている。このような状況の中、公共交通機関を利用するにあたり、高齢者や障害者を含め、誰もが移動をしやすくすることが求められるようになった。 また、質の高いバリアフリー社会の実現にあたり、公共交通機関の旅客施設及び車両や道路等のハード面の整備のみでは限界があるため、ソフト施策の実施により「心のバリアフリー」を推し進めるようになった。															
事業の内容	目的(どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に) 平成16年3月に公表した「所沢市交通バリアフリー基本構想」で示された特定事業の進捗状況を定期的に確認することにより、基本構想の適切な進行管理を行っている。また、日常生活を通じて「心のバリアフリー」の普及促進を図るためソフト施策を実施し、市民参加による福祉活動を推進している。															
	対象(誰を、何を対象としているのか)		対象数		単位		平成 26 年度		153 事業							
	交通バリアフリー基本構想特定事業						平成 27 年度		153 事業							
事業の具体的な内容及び実施方法 交通バリアフリー基本構想特定事業の進捗状況を管理し、市ホームページで情報提供を行う。 ソフト事業として駅ボランティア事業を行っている。(平成17年度からは秋草短期大学に参加を呼びかけている。 駅ボランティア事業の内容は、視覚障害者や車いす利用者の介助方法等を学ぶ体験会を年2回実施。秋草学園短期大学では、年1回実施。体験会終了後、「駅ボランティア証」を交付。駅ボランティア登録者は通勤・通学等の駅利用時に、駅やその周辺で困っている人の介助(通路・階段の移動、荷物運搬、切符の購入等)を行う。また、バリアフリー意識の向上及びスキルアップのため、駅ボランティア登録者へのフォローアップ研修を実施。																
経費	会計種別		一般会計		平成 26 年度 (千円)		平成 27 年度 (千円)		平成 28 年度 (千円)							
	予算現額				85		85		85							
	決算(見込み含む)				67		78									
	(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)		(人)		(人)		(人)		(人)							
	正規職員人件費		0.65 人		5,669		0.35 人		3,031							
	事業費合計				5,736		3,109									
財源内訳		一般財源		5,736		3,109		85								
		国・県支出金														
		その他()														
実績	項目名		項目説明		単位		H 26		H 27		H28見込み		将来目標			
	活動実績		特定事業のうち、継続中又は実施済みの事業数		事業数		事業		149		149		149			
			駅ボランティア登録者数(新規)		新規登録者数		人		165		142		142			
			駅ボランティア登録者数(有効)		有効登録者数(合計)		人		520		542		469			
成果	項目名		項目説明		単位		H 26		H 27		H28目標値		将来目標			
	成果指標		継続中または実施済みの特定事業数の割合		%		目標値		100		100		100			
			継続中または実施済みの特定事業数 ÷ 特定事業総数(153事業)				実績		97		97		<input checked="" type="checkbox"/> 「実績」拡大図 <input type="checkbox"/> 「実績」縮小図			
目標達成状況		どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%		達成率		97		97		どちらかをチェックしてください				
改善点	(1)平成27年度中に改善した点(改善内容・その結果について記載してください)					(2)平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析										
	特定事業である「新所沢駅東口広場の視覚障害者用誘導ブロック及び車止めの改良」を行った。					平成16年度からの事業継続により、ほとんどの項目で事業が実施されているが、施設管理者、周辺地権者及び道路状況等により、実施困難な箇所が見られる。										
評価	評価		事業実施方法(複数選択可)		理由		バリアフリー基本構想における未完了事業の推進の確認、公表及び駅ボランティア事業について、継続して行っていく。									
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了		次年度予算		<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持		予算を計上している駅ボランティア事業については、「心のバリアフリー」の普及促進に向け、引き続き行っていく。									
評価	(1)平成28年度に取り組んでいる状況					(2)今後の方向性										
	特定事業となっている「所沢駅東口バス停付近の段差解消」について、利用者の安全確保等の観点から、道路管理者及び鉄道事業者が協議を進めており、その進捗状況を把握している。					所沢市交通バリアフリー基本構想の目標年次は平成22年度で終了したが、継続事業及び未完了の項目については、公共交通事業者・道路管理者等に対し、事業の推進・継続を働きかけるとともに、進捗状況を把握していく。また、基本構想に載っていない個々の要望についてはその都度対応していく。										
評価日		H28.7.26		評価者職氏名		交通安全課長		田中 政美								
環境影響	有益な環境影響		5-2安心な都市空間の整備		有害な環境影響を及ぼす原因活動		特定事業進行管理事務		規制を受ける環境法令等		無		緊急事態		無	